

社会資本総合整備計画 中間評価書

令和06年01月23日

計画の名称	小城市における下水道普及の推進（重点計画）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	小城市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	4,371	A	4,371	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成30年度末	令和4年度末	令和6年度末
1	下水道処理人口普及率を55.5%（平成30年度末）から67.2%（令和6年度末）に増加させる。			
	下水道処理人口普及率（%）	55%	63%	67%
	下水道を利用できる人口（人） / 下水道事業計画区域内における行政人口（人）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	牛津処理区汚水幹線枝線	A=1.9ha	小城市						217	-	
	A07-002	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	三日月処理区汚水幹線枝線	A=22.8ha	小城市						1,043	-	
	A07-003	下水道	一般	小城市	直接	小城市	終末処理場	新設	三日月浄化センター水処理施設増設	土木・建築・機械・電気設備	小城市						1,082	-	
	A07-004	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	芦刈処理区汚水幹線枝線	A=6.8ha	小城市						650	-	
	A07-005	下水道	一般	小城市	直接	小城市	終末処理場	新設	芦刈浄化センター水処理施設増設	土木・建築・機械・電気設備	小城市						27	-	
	A07-006	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	小城処理区汚水幹線枝線	A=42.2ha	小城市						1,304	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	小城市下水道全体計画再編	下水道全体計画見直し	小城市						48		-
											小計						4,371		
											合計						4,371		

中間評価

中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
小城市下水道課にて中間評価を実施	令和6年1月
	公表の方法
	小城市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道処理人口普及率が55%から62%となり、下水道を使用できる人が21,199人から22,004人となり、805人増えた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	家庭や事業所から排出される汚水を浄化することで公共水域の水質保全を図ると共に、水洗トイレの設置により衛生的で快適な生活環境を創出することに寄与している。
特記事項（今後の方針等）	
下水道全体計画見直しを行い、エリアを縮小したことで令和8年度事業完了を目指し、下水道事業を進めていく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	中間目標値	
	中間目標値	63%
	中間実績値	62%
		下水道全体計画見直しにより、整備面積の調整を行ったため、目標値に対し1%の差が出ている。